

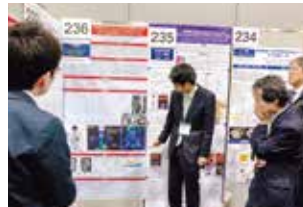
「医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ2019名古屋」で6名が発表！



優秀演題賞を受賞



前日予行演習の様子



演題発表の様子

「医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ2019」がポートメッセ名古屋にて開催され(2019年4月27日)、2年次研修医の内勢由佳子、神谷俊樹、黒田彩加、橋原亮、原大介、若松美仁の6人の先生が、内科研修時に経験した症例をポスター形式で発表しました。発表前夜には貸会議室を借りて合同の予行演習を行い、翌日の本番に向けて最終調整(発表のテンポの確認や予想される質問への対応など)を行いました。本番当日は広い会場に6人の先生が散らばってそれぞれの順番で堂々とした発表を行いました。6人も無事に発表を終え、大きな達成感(と疲労感)を実感したと思います。そして6人の中で黒田彩加先生の演題が「優秀演題賞」に選出され、夕方の懇親会にて壇上で表彰されるという栄誉に与りました。

患者さんに対して診療を行うことだけでなく、時には症例について深く勉強し、それが示唆に富む教育的症例であった場合は公の場で発表するというのも医師の努めのひとつであります。そのことを研修医の先生方が体感できたのであれば、研修医、指導医ともども頑張った甲斐があったと思います。

今回の経験を糧にして、これからも是非頑張ってくださいね！

新研修医の声

1年次 医科 河野 文耶 (写真:左手前から2番目)

梅雨の時期ですが、未だに「先生」と呼ばれるのに慣れず「学生さん」にピクッとしながら、日々楽しく研修させて頂いています。

専門は未定なのですが、先日、某先生に「いや～専門どれにするかは今後40年の医師人生を大きく左右するからね～ハハッ」と言われ、いよいよ簡単には決められなくなりました。ですので、病棟業務の傍ら、診療科としての純粋な魅力を見つけるのはもちろんですが、医局の雰囲気も体感しつつ、自分の性格に合った科を探しながら研修しています。

大学病院には、入局したての先生から、歳の離れたベテランの先生まで多くの先生方がいらっしゃるの、5年後、10年後、20年後、30年後と、入局した後の自分の姿をイメージしやすいです。様々な要素を自分の目で見ながら専門を慎重に決められること、これが大学のメリットの1つだと思います。



そして、何と言っても同期が多いこと、これに尽きます。写真は先日同期と行ったビアガーデンです。充電しながら仕事を頑張ります！

1年次 歯科 山下 祐典 (写真:右手前)



今年度4月から宮崎大学附属病院歯科・口腔外科で研修をしています。全身疾患を有する患者が多く受診されるため、疾患を有する患者の歯科治療や全身管理を学ぶには適した環境です。病棟での処置や入院患者の管理を通じて、一般歯科ではできない経験をしています。また、研修を始めて4か月ですが外来での処置も指導医の下、執刀医として抜歯や生検などを経験しています。

大学病院での研修以外にも3か月間自分の希望する歯科医院での研修を行うことができ、一般歯科での研修が今から楽しみです。環境に慣れるまでは大変ですが毎日多くのことを学んでいます。指導医の先生方にはご迷惑をおかけすることになると思いますがご指導のほどよろしくお祈りしています。



「串間市民病院オススメだよ」その時、1年次研修医で2年目の地域枠をどこにするか迷っている私に1年上の優秀な先輩がそうアドバイスをしてくれました。日向市出身の私は同じ宮崎県内と言えども、少し離れた串間市はあまり行ったことがなく観光がてら行ってみるかという気持ちで串間市民病院を選択させていただきました。

串間市民病院での主な業務は、初診外来、病棟、救急対応です。この中で、私は初診外来をあまり経験したことがなく何の検査をどこまでですか、帰宅させるか、入院させるか、帰宅しても再診してもらうかを最終的には指導医に確認するものの自分で判断するのはとても難しかったです。最初は、何も分からず外来に出るのを緊張しましたが、熱心な指導医の下、研修の途中からはある程度検査プランをたてられるようになりました。また、その検査プランを立てる上で、串間市民病院には優秀なスタッフさんがたくさんいるのでコメディカルの方たちに直接相談しに行き、検査を進めていくチーム医療の大切さも直に学ぶことが出来ました。

串間市民病院は学び多く、研修出来て良かったです。迷っている方は、ぜひ選択肢の一つとして考えてみてください。

第10回
そつごの
そつご

宮崎から世界へ 癌研究の最前線

今秋講演予定! ※ 詳細は決定次第でご案内します。

宮崎大学出身の先輩医師が、自身の留学や研究の実体験からくる想いを語っていただき、皆さんの医療人キャリアを考える一助となる機会として開催します。乞うご期待!



ロスウェルパーク癌研究所
勝田 絵里子 先生

みなさんこんにちは。私は2005年に宮崎大学を卒業し、卒後2年間、宮崎大学附属病院で卒後臨床研修を過ごした、“卒後(小松先生一派)”の卒業生です。それから10年以上の年月が過ぎたとは、時がたつのは本当に早いと感じます。小松先生は私の一内科ローテーション時の指導医であり、大変お世話になったのですが、まもなくして卒後臨床研修センターにいらっしゃり、またまたお世話になったのを昨日のこのように覚えています。

研修医のとき苦楽を共にした仲間たちは、今でも何かあったら支えあえるよき友達です。研修期間中、外科の研修にとっても感銘を受け、当初は全く考えていなかった外科の道に進むことに決めました。研修終了後、長く過ごした宮崎に後ろ髪をひかれる気持ちでいっぱいでしたが、生まれ育った地元東京に戻り、東京医科歯科大学の外科で後期研修のトレーニングを積みました。外科になってすぐは、予定手術はもちろん、夜中の緊急手術も一件でも多く執刀したい一心で、当直でもないのに救急外来に無駄に立ち寄りしてしていました。

多くの時間を少し田舎の関連病院でのびのびと外科業務に集中して過ごしました。手術で患者さんを治す、という外科の醍醐味を実感する一方で、どんなによい手術を施しても再発して亡くなっていく癌患者さんを前に、外科治療だけでは決して癌には立ち向かえないこともまた痛感し、それと同時になぜ同じような病状の患者さんが同じような手術をしても再発したりしなかったりと癌そのものの持つ多様性について考えるようにもなりました。

その後、東京医科歯科大学外科(臓器別の6つの科から構成されています)のプログラムで、進む科を決めてその科の大学院に入学する、という半ば強制的の制度にとっても気が進みませんでした。当時は研究なんかしたくないと強く思っていました。しかし、それはただの食わず嫌いであったと後に判明します。

肝胆膵外科に入局し、最初は病棟業務で肝胆膵外科特有の病棟管理や、少しずつではありますが手術手技も習得しました。ほどなくして研究専任となり、理科の実験以来の不慣れな手つきで、プロジェクトの概要もよく理解できないままに実験を始めました。そこからは茨の道で、たまたま割り当てられたプロジェクトがなかなかよいデータが出ず、他のプロジェクトに移るも、またよい結果が出ず、という繰り返し



フルマラソン走っています。

でした。そうこうしている間に、同期は論文を書き終えて病棟業務に戻っていく、というのを横目で見ながら泣きたい気持ちにもなりました。ですが、なんとか大学院を卒業したいという一心で、一生懸命考え努力をするというとても当たり前のことを繰り返した結果、気がついたら研究が大好きになっていました。そして、研究こそが、再発しやすい患者さんの同定や、その治療についての新たな知見をもたらすものであると気づき、日々研究に没頭する日が続きました。大学院を卒業しても、研究を続けたいという気持ちがいつか強くなり、卒業したらすぐにアメリカに渡り研究をしている、という次第です。渡米して4年半がたち、研究のみならず、いろいろと楽しんで過ごしています。

みなさんも、食わず嫌い、あるかもしれません。気が進まない事もやってみると、人生面白い方向に進むこともあることでしょう。この夏、日本に帰国した際に、宮崎大学にお邪魔して研修医のみなさんに留学についてお話をさせていただく機会をいただきました。この場をお借りしてご尽力いただいた大平先生、小松先生に感謝申し上げます。留学ってどんな人がするの?どんな人に向いているの?どうやったらできるの?私は関係ないと思うのだけど。など思っていたら先生方、ぜひともいらしていただけたらと思います。みなさんにお会いできるのを楽しみにしています。



学会発表。最近は英語の質問も怖くなくなってきました。



夏は屋外でバーベキュー



フットボール観戦にはまっています。

宮崎県専門医プログラム合同説明会 開催



6月29日(土)、シーガイアコンベンションセンターにて、研修医・医学生を対象とした宮崎県専門医プログラム合同説明会が開催されました。宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会と宮崎県地域医療支援機構、宮崎大学によるAll Miyazaki体制での説明会で、今年が4回目となります。はじめに、本学医療人育成支援センターの小松副センター長(同協議会副会長)より、新専門医制度の経緯と過去2年間の実施状況、全国と宮崎の結果分析等が概説されました。次に、全体会で県内6専門研修基幹施設の29プログラムのポイント解説が行われた後は各領域ブースでの個別説明が行われました。懇親会には130名を超える研修医と指導医が一斉に参加し、和気藹々とした雰囲気の中、専門領域や施設を超えた交流がみられました。宮崎全体で専門医制度を盛り上げていく熱い意気込みが感じられる素晴らしい会となりました。



卒後3年目の先輩医師に聞く 専門研修プログラムへの 進路決定って!?



進路先を決めた時期、決め手は何ですか？



松本 尊行 先生
宮崎大学医学部附属病院
整形外科

一次登録ギリギリまで悩んで決めました。研修医までは正直、整形外科に興味がなかったんです。でも県立日南病院で研修している時に後期高齢者が多いことを実感したことで、今後の高齢化社会を見据えると、自分の中で整形外科の選択がしっかりきた!と感じました。



入佐 浩史 先生
宮崎大学医学部附属病院
小児科

小児科はもともと希望していて研修医2年目の4~5月に小児科研修をしたのですが、他科ともギリギリまで迷いました。最終的には2次まで悩んで小児科に決めました。小児科を選んだ決め手は、「子供たちによりよい明日を見せてあげたい!」という想いです!



鍋倉 弘樹 先生
宮崎大学医学部附属病院
内科

自分は研究キャリア志望だったんですが、研修医1年目の時に「臨床楽しい!」と思って。内科なら研究も同時にできていいなと思い内科を選びました。



各専門のお勧めポイントなど、後輩へメッセージをお願いします!



今はスポーツ、上肢グループを回ってますが、協力体制がしっかりしていると感じます。入局前は医局の雰囲気を分からなくて、体育会系は得意じゃないと思ってましたが、入ってみたら本当に丁寧に指導・教育してもらっています。興味ある方、ぜひ一緒にご飯に行きましょう!



小児科は産婦人科にもお世話になっています。NICUを3ヶ月回ることができ、500gのお子さんから幅広く見れるのが大きな魅力の1つです。かわい子子供たちの笑顔に毎日癒やされますよ!



入って後悔はしてません!(全員が頷く)内科では神経の患者さんから呼吸器の患者さんまで、全身のことを学ばせていただいています。基礎研究も病棟の空き時間で学んでいます。研修医の皆さんは悩みすぎずに、決めたらそこで頑張ろう!と思ってそこで頑張ってください!一緒に研究やりたい人、待ってます!

レジナビフェア2019 in 東京&大阪へ チーム宮崎が出陣!

魅力ある宮崎の臨床研修を伝える!

『レジナビフェア2019 in 東京』が6月23日(日)幕張メッセにて、また『レジナビフェア2019 in 大阪』が7月7日(日)インテックス大阪で開催されました。本院も宮崎県内基幹型臨床研修病院とともに『All Miyazakiブース』に出展し、本院研修プログラムの特徴や魅力をお伝えしました。本院ブースには東京会場37名、大阪会場30名と、両会場とも大変多くの学生さんにお越しいただきました。ありがとうございました。宮崎県での研修に興味、関心をお持ちの方は、旅費支援制度を活用して、ぜひ実際のリアルな研修環境の分かる「病院見学」へお越しください。お待ちしております!

レジナビフェア
2019
in 大阪



病院見学のお申込みはこちら

レジナビフェア
2019
in 東京



今年のマッチングがスタートしました!

「6/6 宮崎大学医学部生対象マッチング登録説明会&県内7基幹型病院臨床病院合同説明会」を開催!

6月6日(木)、宮崎大学医学部にて、6年生を主な対象としたマッチング登録に関する説明会と県内7基幹型臨床研修病院合同説明会を開催しました。宮崎大学卒業後臨床研修センターの小松センター長からマッチングの仕組みや登録方法に関する説明が行われた後、県内7基幹型臨床研修病院(県立宮崎/日南/延岡、古賀総合、宮崎生協、藤元総合、宮崎大学)から研修プログラムの概要や特徴の説明がありました。84名の参加者に対し、実際の研修の雰囲気や迫力が伝わる動画あり、研修医の生の声あり、研修コンセプトを全力で訴えかける魂のプレゼンありと、短時間ながらそれぞれの病院の特徴が伝わる素晴らしい内容でした。



行事案内 (8月~12月)

8月	13日(火)	第1回 医師臨床研修マッチング面接
	15日(木)	第1回 歯科医師臨床研修マッチング面接
	29日(木)	第2回 歯科医師臨床研修マッチング面接
9月	2日(月)	第2回 医師臨床研修マッチング面接
	5日(木)	第3回 歯科医師臨床研修マッチング面接
	12日(木)	第4回 歯科医師臨床研修マッチング面接
10月	13日(日)	eレジフェア西日本(北九州市)
	17日(木)	医師臨床研修マッチング決定
	22日(火)	歯科医師臨床研修マッチング決定
11月	30日(土)	研修ローテーション選択・修了判定説明会
12月	14日(土)・15日(日)	指導医のための教育ワークショップ(宮崎市)

「なんでも掲示板」 原稿募集!

宮崎市伝説、失敗リカバリ談、研修あるある話など、研修に係わる話ならなんでも原稿募集中です!

連絡先 宮崎大学医学部 学生支援課 卒業臨床研修係
内線2385/2386

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200
TEL0985-85-1864 FAX0985-85-0693
E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp

